

全国コミュニティ・スクール研究大会 in 金沢 地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2024 金沢を終えて

石川県金沢市 教育長 野口 弘

昨年11月8日に開催した全国コミュニティ・スクール研究大会 in 金沢では、会場参加とWEB参加を合わせて1,000人近くの方にご参加いただくことができました。心よりお礼を申し上げます。

今回の研究大会は、「持続可能な社会の創り手の育成～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組を通して～」というテーマで開催しました。午前のパネルディスカッション、午後の分科会、そしてご参加いただいた皆様からのご意見、ご質問など、コミュニティ・スクールに対する熱い思いのこもった議論が交わされ、非常に充実した大会となりました。

本市からも、金沢市の学校が取り組んでいる姿を全国に発信し、様々なご意見をいただくとともに、各学校の教職員はもちろん、地域や保護者の方々にも多数ご参加いただき、全国の先進的な取組の発表や意見交換を通じて、課題・ノウハウを共有し、地域が果たす役割について理解を深めていただくことができたと思っています。今後も、学校と地域が互いにパートナーとして子供たちの成長を支えていくコミュニティ・スクールの仕組みを十分に生かし、魅力ある学校づくりを進めていきたいと思っております。

大会の終わりには、次期開催地の仙台市の天野教育長にバトンをお渡しいたしました。東日本大震災からの復旧・復興が進められるなか、尊い犠牲の上に得られたさまざまな教訓が、全国各地においてその後の災害対策に活かされています。一方で、我が国では、毎年のように豪雨災害が頻発し、昨年1月1日の能登半島地震をはじめとする大規模地震もたびたび発生しています。いつどこであっても災害に遭う可能性がある現在、仙台市で開催される大会では、いま改めて学ぶこと、災害に見舞われた現地だからこそ感じられることが必ずあるはずです。来年の大会も、コミュニティ・スクールの発展に大いに寄与する大会になるものと確信しています。



結びに、今回の開催に当たり、格段のご尽力をいただきました文部科学省の皆様、全国コミュニティ・スクール連絡協議会の皆様、さらにはご後援いただきました石川県教育委員会をはじめ各種団体の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、ご参加いただいた皆様の今後のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



■ 研究大会を終えて

左から、

稲田新会長〈京都市教育長〉

天野仙台市教育長（次年度開催地）

野口金沢市教育長（今年度開催地）

貝ノ瀬顧問

全国コミュニティ・スクール研究大会 in 金沢

持続可能な社会の創り手の育成～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組を通して～

午前の部 ～開会行事／パネルディスカッション

【開会行事】

初めに、文部科学省 あべ俊子文部科学大臣（同省 茂里毅総合教育政策局長代読）、続いて全国コミュニティ・スクール連絡協議会 稲田新吾新会長が主催者として挨拶しました。次に、歓迎のことばとして開催地である石川県教育委員会 北野喜樹教育長、金沢市 村山卓市長が挨拶しました。また来賓として、参議院 赤池誠章議員、衆議院 小森たかくお議員、公益社団法人全国子ども会連合会 美田耕一郎会長、東京大学大学院 鈴木寛教授、本会 貝ノ瀬滋顧問が登壇されました。

【パネルディスカッション】

今年度のパネルディスカッションのテーマは「持続可能な社会の創り手を育成するコミュニティ・スクール」。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組により、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手」の育成に資することについて、多様な立場の登壇者にディスカッションしていただきました。

NPO法人みらいず works 代表理事も務める 小見まいこ文部科学省 CS マイスターをモデレーターに、一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム 岡崎工ミ研究開発員、門川大作前京都市長、文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課 高木秀人課長、金沢市教育委員会 野口弘教育長、東京大学大学院 教育学研究科 牧野篤教授の5名をパネリストとしてお迎えしました。まずは、各パネリストが考える「持続可能な社会の創り手」のイメージから始まり、各自の具体的取組から見える成果や課題を共有しました。そして、成果や課題も含めて、持続可能な社会の創り手を育てていくために、地域の力がいかに重要であるかをフリップも使いながら話し合われました。

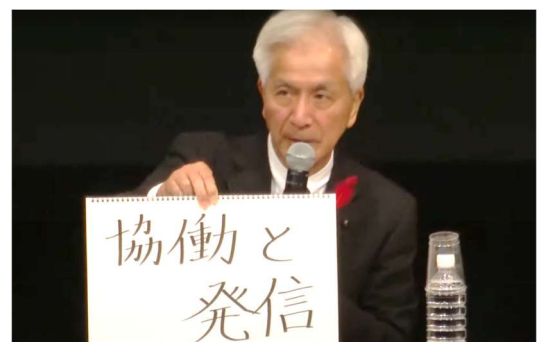
■挨拶をする稲田新会長



■パネルディスカッションの様子



■パネルディスカッション 野口教育長



■アトラクション金沢素囃子（かなざわすばやし）



研究大会のアーカイブ動画は以下のリンク先よりご視聴いただけます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbA_-Df9zBFjIIX03cMcw70k



午後の部～分科会～

分科会 1「持続発展、教育課程」

金沢市立中村町小学校では、地域と学校が連携し、子供の健やかな成長を目指すコミュニティ・スクールモデル校としての活動について報告がありました。学校運営協議会や地域学校協働活動の連携・協働により、地域住民と学校が一体となった取組が推進されています。

金沢市立長町中学校は、校区再編により令和 5 年度に新設されました。地域学校協働活動を生かした生徒の育成を推進しており、地域の人材や施設を活用し様々な教育活動が展開されています。今後も学校・保護者・地域がともに持続発展できる関係を大切に、生徒の成長をサポートすることが目指されています。

埼玉県ふじみ野市は、東台小学校と東原小学校の統合に向けた取組について発表しました。統合に向け抱える課題を、学校運営協議会を中心とした熟議や地域と連携した教育課程の工夫で解決を図るなど、子どもと地域の未来を紡ぐコミュニティ・スクールを目指して活動を行っています。

広島市立美鈴が丘高等学校では、「総探発表会」を中心とした探究活動の充実を図るカリキュラム改善について発表がなされました。学校運営協議会を活用するとともに、地域・大学・行政との窓口を整備し、生徒の主体的な学びや課題解決力の育成を推進しています。

青森県立森田養護学校では、地域と協働した教育活動に関する発表がありました。地区にある 3 校の合同学校運営協議会での提案が実現し、児童生徒の教育環境を支援する活動につながっています。今後の持続的な発展を目指した組織づくりなどが検討されています。

分科会 2「働き方改革、学校安全・防災」

金沢市立大浦小学校では学校運営協議会とスクールサポート隊が連携し、子どもの安全な登下校や地域の防災対策に努めています。防災士が学校運営協議会委員として活動している利点を生かし、地域全体で子どもたちを守る取り組みが行われています。

戸田市教育委員会は、中央教育審議会の提言を受けて、働き方改革を推進するため、学校運営協議会の全体研修会や熟議の試行、新任委員などへの研修等多様な取り組みが行われており、地域の理解と協力を得ながら学校の運営が進められています。

横浜市立北綱島小学校・太尾小学校では、学校運営協議会を通じて学校、保護者、地域の連携を継続発展させ、防災まちづくりの活性化を図っていることが報告されました。そのポイントとして、学校運営協議会と学校経営の PDCA サイクルが連携しており、学校目標の実現に向けた取組が深化しています。

■ 第 2 分科会の様子



分科会 3「地域づくり、社会教育」

金沢市立金石中学校は、地域と連携して生徒の育成に取り組んでいます。地域行事への参加や学校運営協議会などを通じて、地域コミュニティとの結びつきを強化し、生徒の意識向上や活躍の場が提供されています。

瀬戸市立長根小学校では「できる人が、できるときに、できることを」として地域学校協働活動の持続可能な関わり方に取り組んでいます。地域住民が教育活動に積極的に参画する「ねこ丸隊」の活動は子供たちの自己肯定感や学習意欲の向上につながっています。

別府市が取り組んだ学校運営協議会と地域学校協働活動の連携を強化するための中部中学校をモデル校とした教育魅力化事業について発表がありました。特に地域住民と協働して実施された「ドリームスクール」や放課後学習教室などのプログラムにより、夢を持つ生徒の増加や地域住民との関係性の深まりといった成果が上がっています。

全国コミュニティ・スクール連絡協議会 総会・熟議

令和6年度全国コミュニティ・スクール研究大会 in 金沢の前日に総会を開催し、報告事項や次年度開催地挨拶が行われました。本年度の総会では議決事項として役員を選任、事務局の指名について表決を行いました。

総会後には、「コミュニティ・スクールの取組状況や質的向上に向けた課題の共有」をテーマに教育長熟議が行われました。熟議では会場参加者だけでなくオンライン参加者同士でも最近の取組状況を共有するとともに、評議員としての視点も織り交ぜながら、議論が行われました。各教育委員会での具体的な取組や課題、解決策についても意見交換が行われ、コミュニティ・スクールのさらなる発展に向けた貴重な意見が交わされました。

＜新役員＞	会長	稲田 新吾	(京都府京都市教育長)
	副会長	朝倉 孝	(埼玉県ふじみ野市教育長)
	関東支部長	松永 透	(東京都三鷹市教育長)
	四国支部長	天竹 勉	(徳島県東みよし町教育長)

■総会表決の様子



■集合写真



■熟議の様子



総会表決の結果について（報告）

11月7日に「令和6年度全国コミュニティ・スクール連絡協議会総会」を開催しました。結果、規約の定めに従い、過半数の賛成をもって2件の議案はすべて承認されました。頂戴しましたご意見は今後の活動に役立ててまいります。今後ともご協力よろしくお願いたします。

議案第1号 会長の選任及び事務局の指名について

賛成 90件 反対 0件

議案第2号 副会長及び支部長の選任について

賛成 90件 反対 0件

誠にありがとうございました。

会長退任および後任のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、東京都三鷹市教育長 貝ノ瀬 滋が教育長を退任いたしましたことに伴い、本会の会長も令和6年9月30日をもって退任いたしました。後任には京都市教育長 稲田 新吾が就任いたしました。あわせて事務局についても三鷹市教育委員会から京都市教育委員会に移りました。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

全国コミュニティ・スクール連絡協議会

事務局 京都市教育委員会生涯学習部学校地域協働推進担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549 元生祥小学校 2階

電話 075-251-0456

ホームページ <https://japan-cs.org/>